

平成 29 年 度 (2017)

慶應義塾大学入学試験問題

商 学 部

世 界 史

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A (マークシート) と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A (マークシート) の受験番号欄をマークすること。
  2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
  3. 解答用紙 A (マークシート) への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
  4. 解答用紙 A (マークシート) の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。  
(解答例) 

|      |
|------|
| (12) |
|------|

 と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄 

|      |
|------|
| (12) |
|------|

 の ③ にマークすること。  
なお、2 桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。  
例えば、空欄 

|      |
|------|
| (19) |
|------|

|      |
|------|
| (20) |
|------|

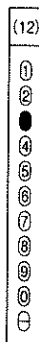
 の解答が 3 6 の場合、解答欄 

|      |
|------|
| (19) |
|------|

 の ③ にマークし、解答欄 

|      |
|------|
| (20) |
|------|

 の ⑥ にマークする。
  5. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
  6. この冊子の総ページ数は 8 ページである。



試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

## I. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

2016年6月の国民投票で決まったイギリスの (1) (2) 離脱は世界に大きな衝撃を与えた。離脱の理由のひとつとしてあげられたのがヨーロッパ大陸から入ってくる移民との様々な摩擦であった。国境を越えて移住する人々のことを移民というが、歴史を振り返るとそこには様々な背景があったと考えられる。

そもそも人類は (3) (4) 大陸において誕生、進化し、そこから世界各地の大陸に移住したとされている。たとえば、フランスで化石が発見され、4万2000年前頃に登場したとされる現生人類の (a) 人はその代表格である。

生活基盤が狩猟・採集から農業へと移っていくと、組織化された社会が生まれ、政治・経済的目的を持つ計画的な移住が始まった。たとえば、古代ギリシアでは、前2000～前1400年頃に栄えた (5) (6) 文明と前1600～前1200年頃の (7) (8) 文明が崩壊すると、(b) 人が地中海を経由して各所に移住し、スパルタなどを建設した。また、地中海の東端に本拠を置く (c) 人は北アフリカの (9) (10) に入植地を築き、西地中海の交易網を掌握した。

一方、イタリア半島では、前10世紀頃までにインド＝ヨーロッパ語系のイタリア人が南下し、前600年頃にはその一派である (d) 人が先住の (e) 人の王を追放してティベル川河畔に都市国家ローマを建設した。その後、ローマは (9) (10) との3次にわたる (11) (12) 戦争などを経て勢力を拡大し、広大な植民地帝国を築き上げた。

しかし、こうした植民地化は、都市国家建設にあたり、労働力不足を補うために奴隷を強制移住させるという負の側面も持つ。なかでも人類史上最大かつ最も悲劇的なのは、17～18世紀に行われた大西洋 (13) (14) 貿易の一端をなす奴隷貿易であろう。その頃、奴隷を労働力としたのは、ブラジルの (15) (16) =プランテーション、北アメリカ南部の (17) (18) および (19) (20) =プランテーションなどだった。そして奴隷を送り出したのは、アフリカ大陸の現ベナンに位置した (21) (22) 王国や現在のナイジェリア西部に存在した (23) (24) 王国などである。奴隷貿易は、奴隷狩りを通じてアフリカの伝統的社会を破壊する一方、受入国においても人種差別問題などその後の社会問題を引き起こす原因となった。

19世紀になると新天地を求めての大移住が見られるようになった。なかでもイギリス人の (25) (26) 入植に始まる北アメリカへの移民は、当初はプロテスタント系ヨーロッパ人中心であったが、1845年のジャガイモ大飢饉を契機とする (f) 人の大規模移住を皮切りに、20世紀に向けて多様化が進んでいった。ただ、その多様性が移民の選別を目的とする1924年の移民法成立の引き金にもなった。

第二次世界大戦後は、産業社会の発展から不足する労働力を海外に頼ろうとする国に移民が集まるようになる。その典型は、1949年に首相に就任した (g) の政権下でのドイツ連邦共和国による「ガストアルバイター（出稼ぎ労働者）」受け入れである。なかでも1961年に二国間協定を結んで受け入れを開始した (27) (28) からの出稼ぎ労働者は、その多くがそのままドイツに滞在して家庭を持ち、永住者となった。そして、(29) (30) 年に東西統一がなされたドイツは、人口のおよそ20%を占めるとも言われる移民との共生社会をどう構築すべきかという問題と向き合うことになる。

さらに、紛争、経済的困窮、飢餓などが原因で居住地を追われた難民も悲劇的な移民といえる。たとえば、1990年にツチ人とフツ人との間で勃発した (h) 内戦や、1992年に旧ユーゴスラビア連邦からの独立に際して起きたボスニア内戦は多くの難民を生むことになった。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (29) (30) にあてはまる最も適当な語句や数字を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (1) ～ (30) にマークしなさい。ただし、(17) (18) と (19) (20) は順不同である。

- |         |          |          |           |
|---------|----------|----------|-----------|
| 11 1989 | 12 1990  | 13 2000  | 14 EU     |
| 15 NATO | 16 OECD  | 17 アフリカ  | 18 ヴァージニア |
| 19 ガリア  | 20 カルタゴ  | 21 キクラデス | 22 クレタ    |
| 23 ゴム   | 24 サトウキビ | 25 三角    | 26 ジョージア  |
| 27 シリア  | 28 ソンガイ  | 29 タバコ   | 30 ダホメ    |
| 31 中国   | 32 トルコ   | 33 バーター  | 34 パーム油   |
| 35 ブガンダ | 36 ベニン   | 37 ポエニ   | 38 ミケーネ   |
| 39 綿花   | 40 ユーラシア | 41 リビア   | 42 ルイジアナ  |

問2 文中の(a)から(h)にあてはまる語句を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 人口減少社会に突入した日本にとって移民とどう向き合うかは喫緊の課題といえる。日本への移民受け入れに関して留意すべき点について、本文の内容を踏まえて、解答用紙Bの所定の欄に50字以内で述べなさい。ただし、本文中に登場する「摩擦」、「労働力不足」、「共生社会」の3語を必ず用いること。

## Ⅱ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

自由と人権の理念を軸に展開してきた近代史は、それに伴うイメージの力が政治や文化・経済の動向を大きく左右する時代でもあった。革新や社会批判の力と結びつけられた「若さ」という価値もその一つである。

『社会契約論』、(31) (32) などの著作で人民主権を主張した<sup>(a)</sup>ルソーは、「青年」の概念を刻印した近代教育学の祖とも言われている。感受性に優れ、社会と葛藤しながら成長していく若者というイメージは、若きゲーテ、シラーらの (33) (34) の文学を経て、ドイツロマン主義において開花した。1848年、中部ヨーロッパ各地で勃発し、<sup>(b)</sup>「諸国民の春」と呼ばれた (35) (36) 革命への動きの中では、市民層に加えて学生や学者、文学者たちも大きな役割を果たすことになる。

19世紀は科学技術が目覚ましい発展を遂げ、資本主義経済が急速に成長する時代でもある。(37) (38) とマンチェスターの間で鉄道が営業運転を開始したのが1830年、1886年には (39) (40) がガソリン自動車を完成している。移動性の爆発的な拡大と<sup>(c)</sup>第二次産業革命によるヨーロッパ経済の世界規模への展開は、一方で様々な社会問題を生み出した。都市への人口の集中と劣悪な労働環境、不衛生と貧困。この時代、青年たちの批判はこのような都市の矛盾に対しても向けられた。息苦しい都会の生活を否定して、若者たちは「自然」、「健康」、「非近代的な共同体」といった価値を発見することになる。自由な身体美への賞賛は音楽やダンスなどの文化的活動とも結びついていた。今日の若者文化の誕生である。これは、社会主義が政党や第1次・第2次 (41) (42) を通して制度化されていくのとは異なる、一見非政治的な批判勢力の登場でもあった。しかしこれが、その後のイメージの歴史に奇妙なねじれを生じさせることになる。

というのは「健康な若者」、つまり「優良な国民／労働力／兵士」の育成とそれを支える都市の「衛生」は、富国強兵を目指す列強国家にとっても重大な関心事だったからである。オスマンによって (43) (44) 期に行われたパリの区画整理と上下水道の整備は、その後各国のモデルとなる。折しも列強は植民地獲得にしのぎを削っていた時代である。アフリカ分割の原則を定めた1884-85年の (45) (46) 会議の後も、1898年にフランスとイギリスの間で (47) (48) 事件が、1905年と1911年にはドイツとフランスの間で (49) (50) 事件が起きている。(45) (46) 会議を提唱したドイツのビスマルクが1878年の (51) (52) 法で国内の反対勢力を弾圧する一方で社会保険制度を導入したのも、この文脈で捉えることができるだろう。その後アメリカで1935年、労働者の団結権を認める (53) (54) 法と同年に制定された社会保障法、第二次世界大戦直後イギリスの労働党 (55) (56) 内閣による「ゆりかごから墓場まで」の政策を経て、今日の社会福祉制度へと繋がる重要な一歩だが、この流れに沿って行われた国民への衛生教育が、人々の「不安」を利用し、それを原動力とする政治を醸成した点も見逃せない。

イメージの力を操ることに長けていたナチス党もまた「若さ」を強調し、その時代最も民主的であると言われた (57) (58) 憲法の選挙制度を通して政権獲得に成功した。彼らはユダヤ人を「疫病をもたらす鼠の大群」に例える宣伝を行い、その<sup>(d)</sup>迫害を「社会衛生学」の名のもとに正当化したのである。

かつての「青年運動」の構図が再び登場するのは1960年代である。キング牧師らによって展開され、後に (59) (60) 大統領のもとで法律として結実した<sup>(e)</sup>人種差別撤廃運動やベトナム反戦運動と連動して、若者たちのメッセージは世界的なうねりを生み出した。ここでも、青年たちの異議申し立ては、具体的政治

的な改革要求と同時に、身体や他者、自然との関わり方そのものを問題にする側面を持っており、これが「若者」という世代を越え、その後の時代に大きく影響を与える力となった。そのひとつは、(f)地球規模の環境問題への取り組みであり、もうひとつはIT革命が開く新たな社会的可能性への関心だろう。

「若さ」、「革新」、「健康」そして「共感力」は、21世紀を生きる私たちにとっても未だ魅力的なイメージ群である。しかし同時に、それが非労働力人口への軽視あるいは敵視へと転化する危険もまた私たちに無縁なものではない。「不安の政治」の対象は、障害者、高齢者、失業者から社会の批判勢力や異なる信念の持ち主へといとも簡単に拡大する。私たちはこのことを決して忘れてはならないだろう。

問1 文中の空欄 (31) (32) ～ (59) (60) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (31) ～ (60) にマークしなさい。

- |            |              |               |             |
|------------|--------------|---------------|-------------|
| 11 二月      | 12 三月        | 13 五月         | 14 アトリー     |
| 15 アンボイナ   | 16 インターナショナル | 17 ヴァイマル      | 18 エチオピア    |
| 19 『君主論』   | 20 ケネディ      | 21 自然主義       | 22 疾風怒濤     |
| 23 社会主義者鎮圧 | 24 ジャクソン     | 25 ジョンソン      | 26 スティーヴンソン |
| 27 第二共和政   | 28 第二帝政      | 29 ダイムラー      | 30 ダーリントン   |
| 31 団結禁止    | 32 チャーチル     | 33 『人間不平等起源論』 | 34 パン＝アフリカ  |
| 35 ファショダ   | 36 プロイセン欽定   | 37 ベルリン       | 38 『方法叙説』   |
| 39 モロッコ    | 40 リヴァプール    | 41 六カ国協議      | 42 ワグナー     |

問2 下線部（a）に関連して、ルソーの思想を他の啓蒙主義思想家から際立たせている特徴は何か。解答用紙Bの所定の欄に35字以内で説明しなさい。ただし、「文明」と「自然」の2語を必ず用いること。

問3 下線部（b）に関連して、1848年にドイツ統一と憲法制定を目的として開かれた会議の名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、重化学工業の発展を可能にした動力源が2つあると言われている。それは何か、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、第二次世界大戦後、ドイツの戦争責任について、ワルシャワ・ゲットー跡地でひざまずいて謝罪したドイツ連邦共和国首相の名前と彼の行った外交政策の名称を、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部（e）に関連して、この運動の名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部（f）に関連して、1972年の国連人間環境会議、1992年の地球サミット、1997年の地球温暖化対策に関する議決が行われた各都市の名称を、時代順に解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

### Ⅲ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

1960年代、アメリカ合衆国の民主党政権は、社会福祉を充実させる経済政策を進めつつベトナム戦争への介入など共産主義に敵対する政治・軍事戦略を採用した。その後、1971年共和党のニクソン大統領は、ドルと (61) (62) の交換停止を発表した。この「 (63) (64) 」を機に、合衆国はソ連・中国と平和共存を図る政治戦略に転換し、73年には南ベトナムから撤退する。このように、経済への考慮を欠いた政治・軍事戦略が長期的に維持できないことは、現代史の学習から引き出せる重要な教訓である。冷戦下での米ソの2極構造が崩壊する1970～80年代の歴史から、それを確認してみよう。

ニクソン政権下の1973年、第2次世界大戦後に合衆国の圧倒的な経済力を前提として成立したドルを基軸通貨とする ( a ) 国際経済体制は崩壊した。先進国の通貨体制は (65) (66) 制に移行、合衆国の国際的地位の低下は明瞭となった。

1981年に就任した共和党のレーガン大統領は、世界政治の指導力をもつ「強いアメリカ」の復活を目指し、ソ連脅威論を唱えて、新型核兵器開発や宇宙空間でミサイルを迎撃する (67) (68) により軍事的な対決姿勢を明確にした。また、第3世界の反米ナショナリズムを抑えるべく中米・中東地域で軍事介入を繰り返した。これにより、民間部門では軍事向けの生産に資源が多く配分されるために消費財の生産が抑制される傾向が生じ、政府部門では歳出が大幅に増大した。同時にレーガンは、<sup>(ア)</sup>「小さな政府」を標榜して福祉予算の削減を進め、減税や規制緩和により自由競争を促進することで経済に活力を与えようとする経済政策「( b )」を進めた。これらの軍事戦略・経済政策により、合衆国は巨額の財政赤字を計上する。

それをまかなうため、合衆国政府は大量の国債を発行した。また、(69) (70) 抑制のために金融引き締め政策を採用したので長期金利が上昇、高金利のドル建て金融資産を買う動きが活発化し、外国為替市場ではドル高が生じた。ドル高により合衆国の輸出は抑制、輸入は促進されるため、貿易赤字が拡大した。貿易赤字は輸出で稼いだ金額を上回る輸入を行うことを意味し、第1次世界大戦期に債権国となった合衆国は ( c ) 年に債務国となった。そして、財政収支と貿易収支の「( d )」は合衆国のマクロ経済弱体化の兆候と解釈され、1985年米・英・仏・(71) (72) ・日本によるニューヨークでの蔵相・中央銀行総裁会議で、ドル高是正のため外国為替市場で協調介入する「( e ) 合意」が成立した。

一方、ソ連は、冷戦下において共産主義イデオロギーに沿った中央集権的計画経済体制を採用し、西側でいう (73) (74) =ドクトリンを主張してドブチュク政権下の (75) (76) に軍を派遣し自由化の動きを弾圧するなど社会主義諸国への軍事介入も行った。だが、1980年代前半には、消費財産業の停滞、技術革新の欠如、軍需産業の肥大化、党官僚の腐敗などその失敗が明らかとなっていた。それを克服するため、1985年共産党書記長に就任したゴルバチョフは、政治・経済面での改革を開始した。ゴルバチョフは、「( f )」を合言葉に企業の自主権拡大や個人営業の自由を認める経済改革を進める。政治面でも自由化を進め、89年には共産党一党支配を崩すべく複数候補制による選挙を実施し、86年4月の (77) (78) 共和国でのチェルノブイリ原子力発電所事故を隠蔽した秘密主義への反省から、情報公開を意味する「( g )」を推進した。対外的には、西側との対決路線や社会主義諸国への介入を改める「( h ) 外交」を進めた。軍需産業が発展しても将来の消費生活を向上させるような社会の生産能力は高まらないからである。

レーガン大統領も「( (d) )」の下で<sup>(イ)</sup>軍拡路線はこれ以上継続できないことを認識していた。米ソ首脳は会談を重ね、1987年に (79) (80) 条約が調印され、米ソ間の緊張緩和(デタント)が進んだ。それを受けて89年にソ連軍が (81) (82) から撤退したのを見て、東欧諸国はゴルバチョフのソ連による軍事介入はないと確信し、各国で次々に共産党支配が終焉する「 (83) (84) 」が始まる。91年、存在意義を失ったソ連共産党は強制的に解散され、ソ連を構成していた共和国は独立国家共同体を創設してそこに加わり、ソ連の歴史は幕を閉じた。

問1 文中の空欄 (61) (62) ～ (83) (84) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (61) ～ (84) にマークしなさい。

- |            |               |             |             |
|------------|---------------|-------------|-------------|
| 11 アフガニスタン | 12 アルバニア      | 13 イタリア     | 14 インフレーション |
| 15 ウクライナ   | 16 カナダ        | 17 金        | 18 銀        |
| 19 グルジア    | 20 戦略兵器削減     | 21 戦略防衛構想   | 22 チェコスロバキア |
| 23 固定相場    | 24 チェチェン      | 25 中距離核戦力全廃 | 26 デフレーション  |
| 27 東欧革命    | 28 ドル＝ショック    | 29 フルシチョフ   | 30 ブレジネフ    |
| 31 ポンド     | 32 ニクソン＝ドクトリン | 33 ドイツ連邦共和国 | 34 封じ込め政策   |
| 35 ベラルーシ   | 36 変動相場       | 37 雪どけ      | 38 ユーゴスラビア  |

問2 文中の(a)から(h)にあてはまる語句を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部(ア)のような経済政策は、1980年代において、イギリスのサッチャー政権、ドイツ連邦共和国のコール政権、日本の中曽根政権でも採用された。その基礎にある思想の名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部(イ)に関連して、長期的な経済負担を考慮せずに採用された政治・軍事戦略が早晚転換されざるをえなくなる理由を、本文の内容を踏まえて、解答用紙Bの所定の欄に35字以内で説明しなさい。ただし、「軍事支出」、「消費財の生産」、「将来への投資」の3語を必ず用いること。

## 《以下余白》